

平成 29 年度  
自己評価・学校関係者評価

教育目標	「心豊かにたくましい子どもを育てる」 「人を思いやる豊かな心を形に・・・」を念頭に基本的な生活習慣を身につける
------	--

※自己評価は 4 段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価は ABC 評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	4	A	A	教育目標を教職員が理解し、教育活動に反映させようとする姿勢が見られ、心を育てる教育や作法教育を中心とする生活習慣指導に集中した活動が行われています。子ども一人一人の特徴をしっかりと観察し指導するよう心掛けています。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身につけるための指導は十分に行った。	4			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	B	教育方針を計画に反映し綿密な計画が成されています。過去の実績に新たな考えを盛り込むことで毎年高い目標が設定されているように思われます。この為、経験の少ない教職員の意見が反映されにくいことも自己評価に表れていることから、今以上の意見交換を行なえばより良いと考えます。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	4			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	4			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせるための工夫は十分に行った。	3	B	A	綿密に計画された内容を、忠実に実行し一定の教育効果を達成しています。細部を意識した活動により、子ども達の興味が増し、高い教育効果が望めます。年間を通して多くの体験を実施していますが、その丁寧な活動には、教職員の努力が伺えます。今後も、高い教育効果に期待が持てます。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高めるための事前準備は万全である。	3			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	A	A	安全に対する教職員の意識は高いものがあります。マニュアルの確認を行い非常時への対策や事故への対応も確立しています。日々の生活での指導は成果があり、インフルエンザ等の対策にも反映しています。園児に対しての指導は勿論、教職員の体調不良が極めて少ないことは、自己管理の成果と考えます。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	4			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	4			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	A	A	クラスに対する責任感の高さを感じます。仲よく、楽しく心がけ、園庭を駆け回る教職員には、積極的な活動姿勢があります。クラス全員の動きを観察し、其々を尊重した対応に心がけています。場合によって、配慮を欠きそうな言葉掛けに気配りし、一層の品格の向上に心がけたい。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	4			
子どもの話をしっかりと聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	3	B	B	園内研修を重点に、今まで行った教育活動の構築に努める姿勢が見られます。独自の教育スタイルを進め「梨花ブランド」への信頼を高めるよう期待します。個々の教職員は、幼児教育の専門家として、教育技術向上のための課題研究実行を望みます。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	3			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	3			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関り

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	A	A	保護者に対する対応は、自らの責任と積極性を評価します。保護者との意思の疎通に勤め、連携した教育活動は安心感を与えます。また、未就園児に対する活動も活発に実施し、毎回多くの方々の参加があり、その効果が実証されています。地域のとかかわり方については、園として積極的だと考えます。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	4			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	3			
「ミッキー広場・ココサークル」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	4			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	4	B	B	教職員のまとまりの良さが園の力だと感じます。梨花幼稚園の一員としての意識の高さは、各所に表れており評価できます。一方で、消耗品等の扱いは、教育効果優先の考え方が浸透していることで、やや効率性に欠ける点があります。順調な状況に満足することなく、マンネリ防止と共に考えたい。
梨花幼稚園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	4			
職務のマンネリ化防止に努めている。	3			
子どもに要求することは自らも実行している。	4			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

平成 30 年 3 月 10 日

当評価委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等について、現状を踏まえ評価を行い以上の通り報告いたします。

学校法人 鷺巣学園 学校関係者評価委員会  
議長 増田 陽子 